

令和6年度 都市政策部組織目標

組織名	都市政策部	部長	鈴木 浩信
組織の目的・方向性	<p>都市と田園が調和・共生する本市の特徴を活かしながら、8区それぞれが持つ魅力ある地域を道路・公共交通などのネットワークでつなぐことで、持続可能な多核連携都市を目指します。</p> <p>駅・港・空港・道路を備える本市の強みを活かしながら、二次交通を連携させた回遊性向上に取り組み、都市の活力と魅力を高めていくことで、日本海拠点都市として持続的に発展するまちを目指します。</p>		
(参考) 関連する総合計画における政策指標*	<ul style="list-style-type: none"> ・居住誘導区域に住む人口割合 ・自家用車に頼らなくても移動しやすいまちと思う市民の割合 ・都心エリアの平均地価変動率 ・港、空港、新潟駅、高速道路などの広域交通インフラの利便性が以前と比べて向上していると思う市民の割合 		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

都市政策部組織目標

<p>重点目標</p> <p>都市政策部では、新潟市総合計画 2030（まちづくり・インフラ）に基づき、コンパクトなまちづくりの推進、交通ネットワークの強化・充実、人中心のウォークアブルな空間形成、都心部の戦略的な再開発促進、拠点機能の充実・強化に総力を結集して取り組みます。</p> <p>さらに、次世代に対応した職員の育成に取り組み、技術力の向上を図ります。この方針のもと、今年度は、次の5つの目標に重点的に取り組みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域や生活の拠点へ都市機能を誘導するなど、コンパクトなまちづくりを推進しながら多核連携型の都市づくりに取り組みます。また、自然災害に強い、防災・減災のまちづくりを進めます。 2 都心アクセスの強化を図るとともに、広域交通拠点と二次交通を連携させることで交通ネットワークの強化・充実を図ります。 3 官民一体となって質の高い投資を呼び込み、都心部の戦略的な再開発を促進し、都心の拠点性向上を推進します。 4 新潟駅・新潟港・新潟空港における拠点機能の充実・強化により、賑わいの創出、利用促進による活性化を図ります。 5 次世代に対応した職員の育成に取り組み、技術力の向上と公共工事の品質確保を図ります。
--

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

取組結果	重点目標の達成状況	目標数		達成数	

今後の方向性

(